

平成 16 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 2 次)

専門科目

経済理論・経営理論分野

以下の問 1 と問 2 との中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済理論) 以下の (ア)、(イ)、(ウ) の問から 2 つを選んで答えなさい。

(ア) 平均費用曲線と限界費用曲線に関する次の問に答えなさい。

- (1) U字型平均費用曲線の最低点を限界費用曲線が通るが、それはなぜか。
- (2) 産出量を q とするとき、固定費が産出量にかかわらず 100 で、変動費が $20q$ であるとする。この場合の限界費用曲線と平均費用曲線とを図示しなさい。

(イ) 有効需要の原理の視点から、次の命題の中にある理論的な誤りを指摘しなさい。

「一国経済全体をとってみると、民間部門の投資マイナス貯蓄と、経常収支黒字と、財政赤字との和が零になると言われる。中国では、経常収支は黒字で財政は赤字であるが、積極的な外国資本の導入が貯蓄不足を補い、民間部門で貯蓄を上回る投資が可能になって、これが中国の高成長の原因になっている。一方日本では、国民所得に占める賃金の割合が近年高まっている。賃金からの貯蓄性向は利潤からの貯蓄性向よりも小さいから、全体として貯蓄が不足し、これが投資を制約して、経済成長率を低下させる原因となっている。」という命題。

(ウ) 古典派から現代に至る価格理論の歴史を概説しなさい。

問 2 (経営理論) マーケティングとはどのような活動であるのか、次のような点に留意して説明しなさい。(1) なぜ、マーケティングは今日の状況の中でとりわけ重視されるのか。(2) マーケティングの基本的考え方はどのように発展してきたのか。これは、できれば経済発展段階に即した説明が望ましい。(3) マーケティングと販売なり販売活動は大きくいって何が違うのか。(4) マーケティングとは要するにどのようなものか、自分の考えを述べよ。

なお、マーケティングは定義づけようとする、なかなかむずかしい概念である。そこで、ここではあまり定義にこだわらなくてよい。むしろ、上のような点に留意して、なるべく具体的に自分の考えを述べればよい。